

# 板橋区带状疱疹ワクチン任意予防接種費用一部助成のお知らせ

带状疱疹の発症を予防するとともに区民の皆様の負担を軽減するため、带状疱疹ワクチン任意予防接種費用の一部を助成します。（※任意接種：予防接種法に定められていない接種。全額自己負担が原則。）

区内協力医療機関で所定の予診票を記入し接種を受け、医療機関の接種費用と助成との差額をお支払いください（助成額は医療機関での会計時に差し引きます）。なお、助成を受けられるのは生涯で一度のみです。

助成の内容		
対象ワクチン	助成回数	助成額(割引額)
生ワクチン (乾燥弱毒生水痘ワクチン)	1回	4,000円
不活化ワクチン (乾燥組換え带状疱疹ワクチン)	2回まで	1回当たり10,000円

## 【実施期間】

令和8年3月31日まで

※不活化ワクチンを使用する場合、1回目接種と2回目接種の接種間隔は通常2～6か月が必要です。この制度を使って不活化ワクチンの接種をご希望の方は遅くとも令和8年1月までに1回目接種をご検討いただくことをお勧めします。

## 【任意接種費用助成 対象者】

接種日現在50歳以上の板橋区民で、今まで板橋区で助成を受けたことがない方  
※带状疱疹ワクチン定期接種の対象者（65歳、70歳、…100歳になる年度の方など）は、この制度（任意予防接種費用一部助成）ではなく、定期接種の制度を利用してください。

## 【任意接種費用助成 実施場所】

区内協力医療機関（区内協力医療機関以外の医療機関では受けられません）

※板橋区民以外の方が接種、及び板橋区民の方が区内協力医療機関以外で接種した際の助成や償還払い（費用返還）はありません。助成額は医療機関での会計時に差し引きます。

※原則、事前予約が必要です。予約は各医療機関に直接お問い合わせください。なお、医療機関ごとに接種費用（自己負担額）や取り扱われるワクチンが異なります。予約時に必ずご確認ください。

## 【持ちもの】

板橋区民であること（住所、氏名、生年月日）がわかる本人確認書類

（例：マイナンバーカード、健康保険資格確認書など）

※この他に必要な書類（予診票（助成の申込書））は区内協力医療機関に設置しています。

## 【接種の際の注意事項】

「带状疱疹ワクチン定期接種」の対象者ではないことを確認してください。

※定期接種の対象者には令和7年5月頃にご自宅に定期接種専用の予診票（黄色）をお送りしますので、その予診票を使って助成を受けてください。詳しくは板橋区保健所予防対策課か医療機関の受付窓口にお問い合わせください。

## 【带状疱疹の予防接種（生ワクチン、不活化ワクチン）を希望される方へ】

### ○带状疱疹とは

带状疱疹は、過去に水痘にかかった時に体の中に潜伏した水痘带状疱疹ウイルスが再活性化することにより、神経支配領域に沿って、典型的には体の左右どちらかに帯状に、時に痛みを伴う水疱が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治った後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹は、70歳代で発症する方が最も多くなっています。

## 1 接種に当たっての注意事項

予防接種は体調の良い日に行うことが原則です。健康状態が良好でない場合には、かかりつけ医等に相談の上、接種するか否かを決めてください。

また、以下の状態の場合には予防接種を受けることができません。

- ① 明らかに発熱（通常 37.5℃以上をいいます）がある場合
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな場合
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある場合
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する場合及び免疫抑制をきたす治療を受けている場合
- ⑤ 現在、妊娠している人及び妊娠の可能性のある人（生ワクチンのみ）
- ⑥ その他、医師が不適當な状態と判断した場合

## 2 各ワクチンの特徴

	生ワクチン（乾燥弱毒生水痘ワクチン） 販売名：ビケン	不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン） 販売名：シングリックス
接種回数・方法	1回（皮下）	通常、2か月以上の間隔をあけて2回（筋肉内）
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方	免疫の状態に関わらず接種可能
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後3か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後6か月以上あげてください。	筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。
带状疱疹に対する効果	接種1年後：6割程度の予防効果 接種5年後：4割程度の予防効果	接種1年後：9割以上の予防効果 接種5年後：9割程度の予防効果 接種10年後：7割程度の予防効果
带状疱疹後神経痛に対する効果	接種3年後：6割程度の予防効果	接種3年後：9割以上の予防効果
副反応の発現割合	30%以上：発赤 10%以上：そう痒感、熱感、腫れ、疼痛、硬結 1%以上：発疹、倦怠感	70%以上：接種部位の疼痛 30%以上：発赤、筋肉痛、疲労 10%以上：頭痛、腫れ、悪寒、発熱、胃腸症状 1%以上：そう痒感、倦怠感、その他の疼痛

頻度はまれですが、生ワクチンはアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、不活化ワクチンはショック、アナフィラキシーがみられることがあります。接種後に気になる症状があれば、接種した医療機関へお問い合わせください。

## 3 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合はインフルエンザワクチン、新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。ただし、生ワクチンは他の注射生ワクチンと27日以上の間隔をあけて接種してください。

## 4 接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。注射した部分は清潔に保つようしてください。接種当日の入浴は問題ありません。当日の激しい運動や大量の飲酒は控えるようしてください。

接種済票は予防接種を受けた証明書になります。再発行はできませんので、大切に保管しましょう。

## 5 予防接種による健康被害救済制度について

ワクチンの接種を受けた後、極めてまれに重い副反応が生じることがあります。独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく救済制度の対象となる場合があります（独立行政法人医薬品医療機器総合機構：電話 0120 (149) 931）。

また、重篤な被害により障がいが残る場合等には、板橋区が加入する「特別区自治体総合賠償責任保険」の給付の対象となる場合があります。板橋区保健所予防対策課までご連絡をお願いいたします。

### 【問合せ】

- |                         |                         |                          |
|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| ●予防対策課 (3579) 2318      | ●板橋健康福祉センター (3579) 2333 | ●上板橋健康福祉センター (3937) 1041 |
| ●赤塚健康福祉センター (3979) 0511 | ●志村健康福祉センター (3969) 3836 | ●高島平健康福祉センター (3938) 8621 |